

# 大震災・復興ニュース（第46報）

平成24年3月2日  
仙台地方振興事務所水産漁港部

## 1 水産業復旧・復興に向けた対応状況（国及び県全体の動き）

宮城県内の水産物の放射性物質測定結果について

- 測定年月日 平成24年2月23日～28日
- 測定分析機関 宮城県農林水産部，(財)日本分析センター，いであ(株)，(財)日本冷凍食品検査協会(株)総合水研究所，(独)水産総合研究センター中央水産研究所
- 測定結果 放射性セシウムは国が定めた暫定規制値を下回り安全性に問題がないことが確認された。  
(継続して検査している放射性ヨウ素については，今後検出された場合のみの記載とします。)

水産物（漁獲日 平成24年2月20日～23日）

(単位:ベクレル/kg)

種別	漁獲場所	放射性セシウム	種別	漁獲場所	放射性セシウム
ヒラメ	宮城県沖	3.5	マダラ	宮城県沖	3.4
ヒレグロ	宮城県沖	1.6	イヅイア付メ(ドンコ)	宮城県沖	5.7
アカガレイ	宮城県沖	2.44	ミズダコ	宮城県沖	不検出
イヅイア付メ(ドンコ)	宮城県沖	3.7	コウナゴ	宮城県沖	不検出
スケトウダラ	宮城県沖	5.2	シイラ	太平洋沖合	1.5
マダラ	宮城県沖	16.9	アカマンボウ	太平洋沖合	2.4
イトヒキダラ	宮城県沖	不検出	ヒレグロイサナ	太平洋沖合	0.66
マコガレイ	宮城県沖	3	メバチマグロ	太平洋沖合	2.8
アイナメ	宮城県沖	5.1	キハダマグロ	太平洋沖合	1.65
キチジ	宮城県沖	不検出	カツオ	太平洋沖合	不検出
イラコアナゴ	宮城県沖	不検出	ピンナガ	太平洋沖合	1.68
キチジ	宮城県沖	0.76	ヤマメ(天然)	内川(丸森町)	110
アブラツノザメ	宮城県沖	不検出	ヤマメ(天然)	湯川(白石市)	89

放射性物質の値は漁獲日における値を示す。

食品衛生法の規定に基づく食品中の暫定規制値

放射性セシウム 500ベクレル/kg

## 第2回水産関係調査報告会の開催

2月27日(月)，県水産技術総合センター会議室において第2回水産関係調査報告会が開催され，水産関係者64名が参加した。報告内容はセンター本所，気仙沼水産試験場，内水面水産試験場，水産加工開発部から以下の6題が報告された。

- 漁場環境調査結果と今後の取組
- 海底ガレキ分布状況と海洋観測体制の再構築
- ワカメ等主要養殖種の現況と今後の取組
- ノリ等主要養殖種の現況と今後の取組
- 平成23年度秋サケの概要と孵化場支援



報告会の様子

## 6 水産物の安全確保に係る取組（放射能測定結果）

報告会ではガレキ除去のやり方や放射能の懸念に関する質疑がなされた。

## 2 管内の復興に向けた動き

### <水産漁港部からのお知らせ>

#### ノリの入札状況

2月27日（月），第7回のノリ入札会が県漁協塩釜総合支所の乾ノリ集出荷場で開催された。

- ・今回の結果は以下のとおり。

数量：12,010千枚（前年同期の40%），金額：112,463千円（前年同期の54%）

平均落札価格：9.36円/枚（前年同期の136%）

最高値：七ヶ浜支所松ヶ浜産20.03円/枚

- ・累計結果は以下のとおり。

数量：69,772千枚（前年同期までの23%），金額：766,716千円（前年同期までの30%），累積平均単価：10.99円/枚（前年同期までの130%）

- ・現在の海苔の生育状況としては，漁場により栄養塩が回復し，多少色の改善が認められている。

### <トピックス>

#### サケ海中飼育施設を準備

現在，東松島市の浜市，宮戸，大曲地区においてシロサケの海中飼育に向けた準備が進んでいる。

同地区の海中飼育施設は大震災により流失したが，国の一次補正事業「さけ・ます生産地震災復興支援緊急事業」により整備しているもので，浜市地区に2台，宮戸及び大曲地区に各1台設置する。

海中飼育の予定としては，現在鳴瀬吉田川漁協で飼育中の稚魚を3月中旬に搬入し，4月まで飼育する予定である。



準備の様子（大曲地区）

#### ノリ協業化勉強会

2月28日（火），県漁協塩釜総合支所会議室において塩釜市浦戸支所及び亘理支所のノリ生産者を対象として協業化の勉強会が開催された。

勉強会では，県漁業信用基金協会の藤島・庄司経営相談員を講師として，LLP（有限責任事業組合）やLLC（合同会社）等の協業組織の形態の違いや，それぞれのメリット・デメリットについて説明を受けた。

参加者からは，協業組織の話題に加え，がんばる養殖業復興支援事業に関する質疑がなされた。



勉強会の様子